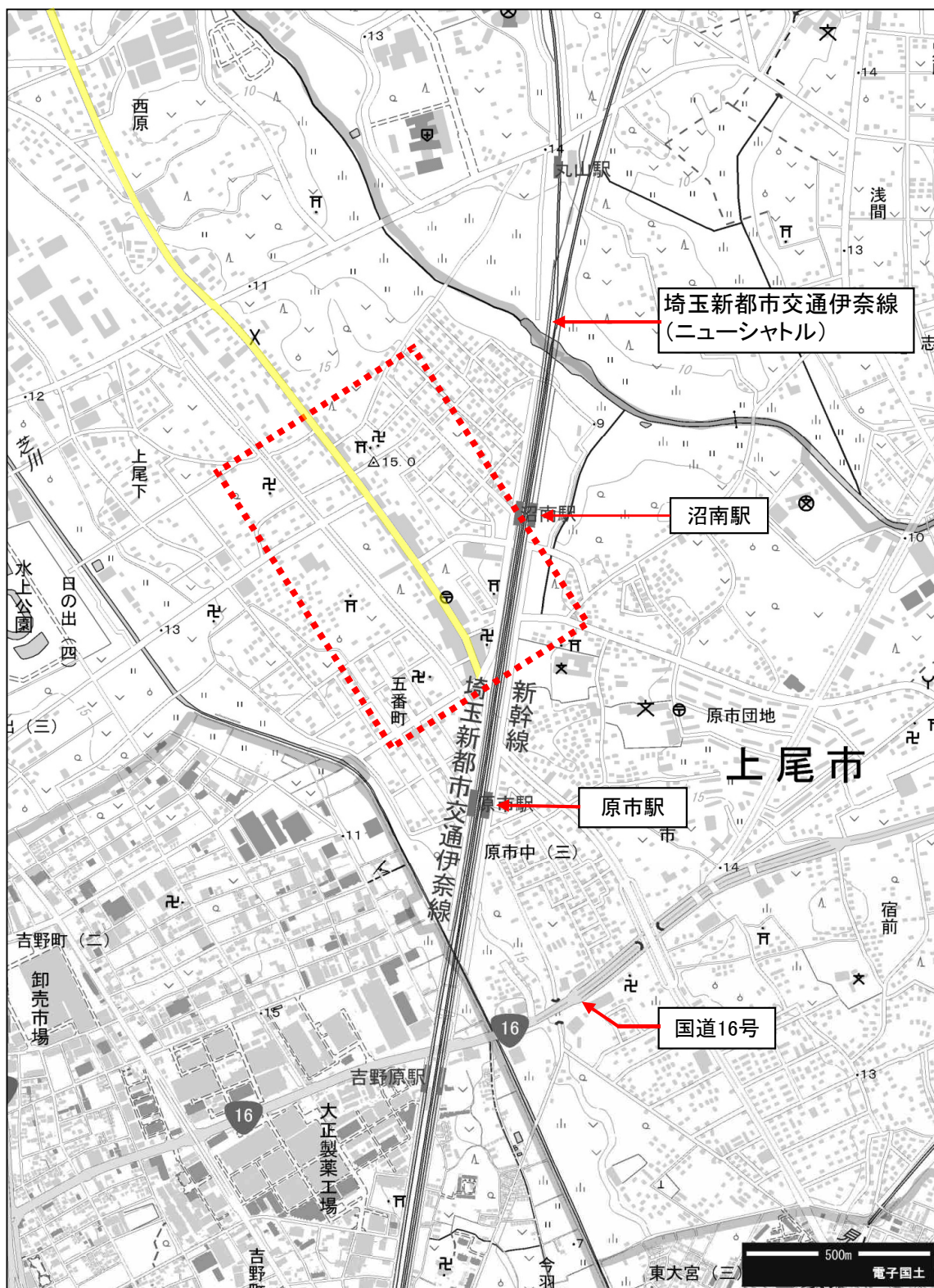


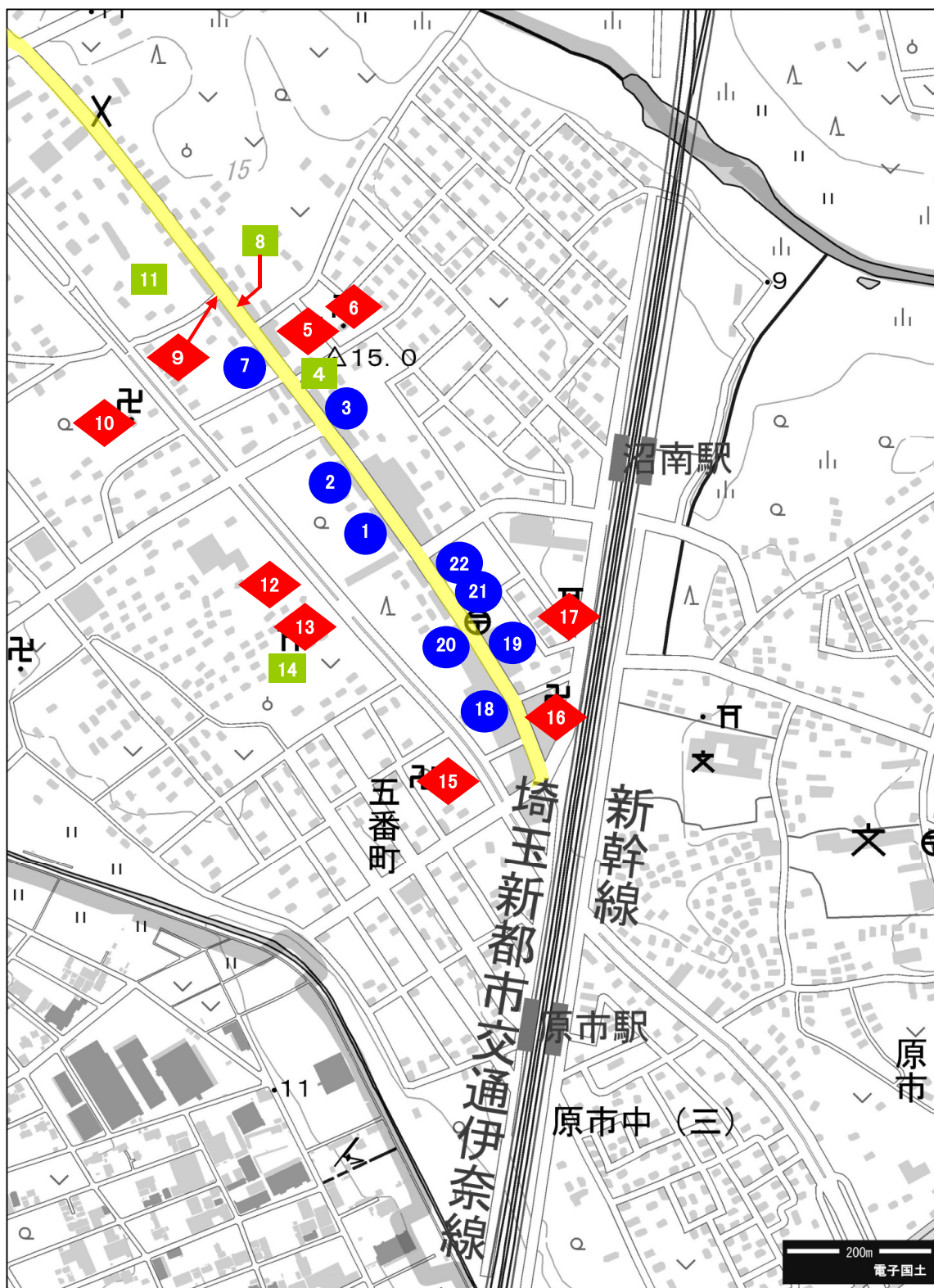
# 原市



案内図

調査範囲

# 原市



案内図

## 凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 原市



原市は歴史が古く、戦国時代より町が存在していた。また、月に2度「市」が立ったり、中山道の脇往還として機能していたこともあって、とても賑わいをみせおり、江戸時代後期には「上尾宿」の助郷としての役割も、担っていた。

今でも、民家の前には市が開いていた名残が残っており、住宅の前には、そのスペースが残っている。  
(写真は上尾市原市付近)

1

蔵



純和風の蔵で重厚感のある立派な建物。

2

蔵



切妻の古い瓦が印象的。

3

蔵



この通りには蔵が点在している。

4

火の見櫓



おそらく昔もこの場所に火の見櫓があったのだろう。

5

-1

氷川神社



すきのうのみこと。  
一社に合祀されている。

5

-2





氷川神社



秋葉、天神、巖島、八幡。  
紀元前五十年頃創建。

6	原市不動尊	7 -1 店舗	7 -2 店舗
			
<p>天王山自性院と号する天台宗の寺院。</p>	<p>今でもかつて盛んであった商家の面影がところどころ残っている。</p>	<p>反対側から見た通りで、歴史を感じるいい景観である。</p>	
8	通り	9 原市新道の道標	10 -1 妙巖寺
			
<p>原市のメインの通りです。</p>	<p>上尾宿へ続く道で庚申塚が置かれてある。 天保十一 三月吉日と彫ってある。</p>	<p>吉次が菩提寺として再興した曹洞宗。</p>	
10 -2	妙巖寺	10 -3 妙巖寺	11 屋敷林
			
<p>伊藤由哉碑(医者)の碑と墓もあり、市の記念物に指定されている。</p>	<p>石畳が奥行を感じさせる。 桜の季節がいい感じでしょうか。</p>	<p>人がとても小さく見える、立派な屋敷林。</p>	

12	大六天	13	金毘羅神社	14	路地の垣根
					
<p>以前は門があったらしい。 案内板が無く、神社名の記述なし。</p>		<p>案内板が無く、神社名の記述なし。 寛政5年頃のものらしい。 社に”金毘羅大権現”と記述あり。</p>		<p>路地の垣根が目によさしい。</p>	
15	相頓寺	16 -1	寶蔵寺	16 -2	寶蔵寺
					
<p>梵鐘が吊り下げられている珍しい 鐘桜門。</p>		<p>「らかんまき」天然記念物である。</p>		<p>本堂は新しめな造り。</p>	
17	稲荷神社	18 -1	店舗	18 -2	店舗
					
<p>道路に挟まれた三角形の敷地にある 神社。 鳥居には「明治36年4月15日建立」と 彫ってある。</p>		<p>蔵造りカフェで山本屋又右衛門。 レトロモダン。</p>		<p>肥料店を改装したものらしい。</p>	

19	店舗	20	店舗	21	住宅
					
<p>通りに面する歴史を感じる店舗。</p>		<p>匠の軒桁が印象的。</p>		<p>空き地＝市場の場所。 原市に住む商人宅の典型。 家の後ろに林が広がる形。</p>	
22	長屋門	23	蔵		
					
<p>市を開くときに必要な場所。</p>		<p>裏側には蔵が見える。</p>			